

第9回土木合同セミナー

『続・今こそ土木の力を』を開催しました！

土木合同セミナー実行委員会事務局
盛岡広域振興局土木部

平成24年12月5日、岩手県産業会館において「第9回土木合同セミナー」を開催しました。今年度の同セミナーのテーマは「続・今こそ土木の力を」。昨年度に引き続き、復旧・復興事業を支える「土木の力」を再認識するとともに、被災地の復興の現状や課題、また、復興のリーディングプロジェクトとなる復興道路や県民の産業振興に欠かすことのできない国の社会基盤整備についての情報共有を目的として、2名の行政関係者から講演をいただきました。

【講演】

「東日本大震災津波～被災地からの報告～」

岩手県 沿岸広域振興局 副局長（大船渡市駐在） 水野尚光氏

「岩手河川国道事務所の取組について」

国土交通省東北地方整備局 岩手河川国道事務所長 高橋公浩氏



【講演】沿岸広域振興局（大船渡市駐在）水野副局長

水野副局長からは、管内（大船渡市と陸前高田市）の被災直後の状況や県の対応の紹介、被災地での経験・視点での課題から、**情報通信手段や官公庁機能の確保の重要性**と、そのために最悪のシナリオを想定した**「役所版BCPの作成」の必要性**について述べられました。

また、地震災害と津波災害のような**複合災害の発生を想定した防災対策の必要性**についても指摘されました。

最後に、復興を進めるため、まちづくり等の専門家の継続的な支援や、市民レベルにおける多様な被災地支援活動が、長期的スパンに亘って不可欠である旨等を訴えられました。



沿岸広域振興局(大船渡市駐在)水野副局長

【講演】講師 岩手河川国道事務所 高橋所長

高橋所長からは、河川の洪水被害状況、医療、消費実態等の統計資料から岩手県の現状を分析、また、今年度の北上川の渇水状況と対策、復興道路の取組等について紹介がありました。

特に、復興道路の東北横断自動車道釜石秋田線は、防災面、産業面、医療面で期待される整備効果が大きく、**横断道開通をポートセールスや企業立地、産業振興を図るうえでの最大の「売り」**として活用して欲しいと述べられました。



岩手河川国道事務所 高橋所長

同セミナーは、県内の建設関係者が使命感、誇り、心意気を思い起こし、一般県民へのサービスの向上を目指すことを目的として、平成15年度から、盛岡広域振興局土木部、(一社)岩手県建設業協会盛岡支部など6団体で構成される実行委員会が開催しています。

第9回を数えた当セミナーは、タイトルのとおり『今こそ土木の力を！』を再認識する機会となりました。